

## 国宝高松塚古墳壁画及び国宝キトラ古墳壁画のメンテナンス等について

## 国立文化財機構古墳壁画PT修復班（壁画担当）

## ○ 高松塚古墳壁画

## 1) 壁画の維持管理及び関連する資料の保存方法の検討に関する業務

## ① 壁画の状態確認

修理時に材料を追加した部分、あるいは新規クリーニング作業（紫外線照射、酵素処置等）を施した部分を中心に、修理後の状況について定期的に確認を行っている。

本年度は6月と8月に状態確認を行った。目視観察とともに測色も行い現時点では色味の大きな変化はなかった。年度内にもう一度確認を行う予定である。



写真1 北壁下部 充填



写真2 天井3 解体時 MC 噴霧



写真3 東男子 解体時 HPC 養生



写真4 東男子 充填補強箇所

## ② 集中メンテナンス作業の状況確認及び打ち合わせ

5月、8月、10月（実施）、1月（予定）

## 2) 壁画の修理作業に関する各種データ整理と報告書準備

- ・今後の報告書の刊行の準備を進めている。今までの資料の整理も継続して遂行している。
- ・資料の整理

- a) 高松塚古墳壁画修理施設内保管の資料についてリスト化と電子化を遂行。特に写真資料については劣化が見られ始めているため、電子化と共に、今後の物理的な保存方法も検討の必要が生じている。
- b) 文化庁資料についても、リスト化と電子化を遂行。写真資料についても同様に劣化が見られ始めているため、電子化と共に、今後の物理的な保存方法も検討の必要が生じている。

## ○ キトラ古墳壁画

### 1) 再構成されなかった漆喰片を含む壁画の維持管理及び保存方法の検討

#### 1) -1 集中メンテナンス作業

今年度集中メンテナンス：

6月、8月、11月（実施）、2月（予定）

#### 1) -2 蓋納品後の運用状況

- ・蓋の取り扱いについて協議し、手順書を作成した。

### 2) 壁画の修理作業に関する資料のアーカイブ化

修理や点検の作業に関する物理的な資料については、目録化し、現在、東文研保存修復資料室において保管中である。

また、取り外し後の壁画の保存処置に関する資料は、四神の館に搬送し保管されている。